

標準配管—9—M1 通常

SRH II-100M

※逃がし弁／エア抜き弁は排気熱の影響を受けない位置に付けて下さい

器具を屋内に設置する場合
「特定機器設置工事監督者」の
資格を有する者又はその監督の
もとに工事を行い、施工後
「器具」及び「排気筒」に
「ラベル」を貼付すること。

また、労働基準監督所への
設置届をして下さい
用紙は添付してます

■注3. 銅管配管の場合
器具ソケットと
銅管の間に、
 $\phi=100$ 程度の絶縁管
(砲金等)をはさむ

逃し弁 逃し弁には吸気機能があります
NVV-19(標準付属品)

■チャッキ弁

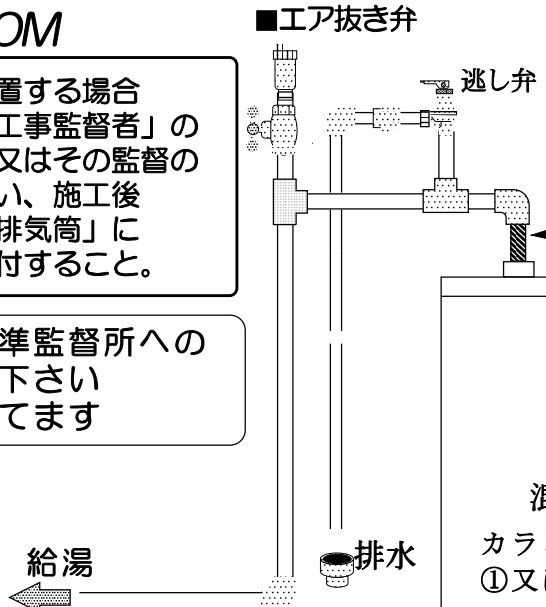
混合水栓がシングルレバー等
湯圧=水圧とする場合

減圧弁WR20-17 (標準付属品)

サーモ付混合水栓の場合
(但し、湯圧と水圧との圧差は0.2MPa以内)

水道圧(一次圧)が $3\text{kg}/\text{cm}^2$ 以下の場合
給水加圧をして下さい

注1. 膨張吐水が監視出来る事



混合水①
カランの仕様によって
①又は②とする

混合水②

別売ケーブル

遠隔操作する場合操作盤の移動可能

ガス

ドレン

排水

■印部材及びバルブ類はご用意ください

床は堅牢、特に屋内階上設置の場合には、床排水・床防水の設備とする

※メンテナンスとして
器具前は、60cm程度の
スペースを確保してください

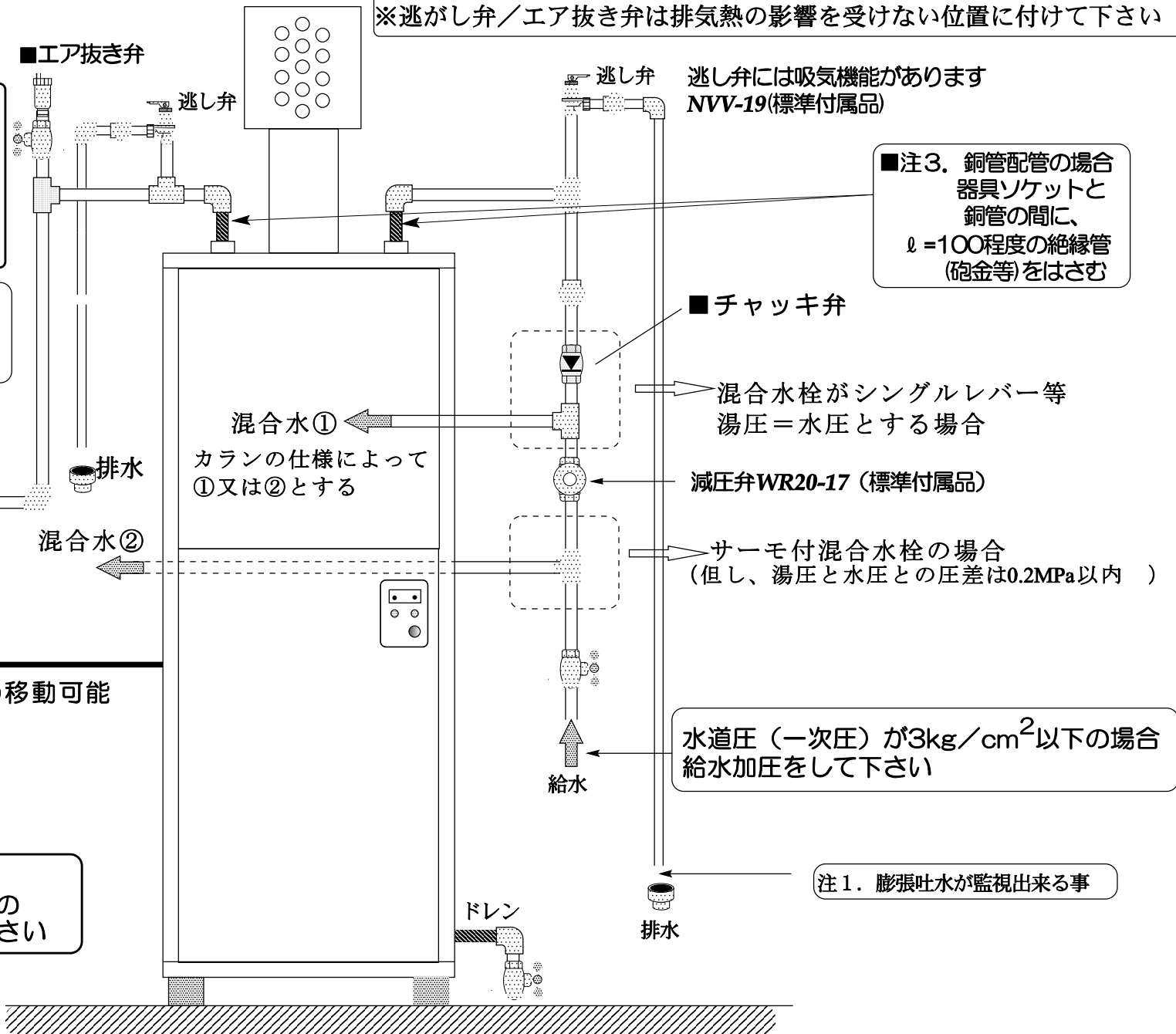
標準配管—9—2 通常

SRHII-100SS

器具を屋内に設置する場合
「特定機器設置工事監督者」の
資格を有する者又はその監督の
もとに工事を行い、施工後
「器具」及び「排気筒」に
「ラベル」を貼付すること。

また、労働基準監督所への
設置届をして下さい
用紙は添付してます

※逃がし弁／エア抜き弁は排気熱の影響を受けない位置に付けて下さい



■注3. 銅管配管の場合
器具ソケットと
銅管の間に、
ℓ=100程度の絶縁管
(砲金等)をはさむ

逃がし弁には吸気機能があります
NVV-19(標準付属品)

混合水栓がシングルレバー等
湯圧=水圧とする場合

減圧弁WR20-17 (標準付属品)

サーモ付混合水栓の場合
(但し、湯圧と水圧との圧差は0.2MPa以内)

水道圧(一次圧)が3kg/cm²以下の場合
給水加圧をして下さい

注1. 膨張吐水が監視出来る事

※メンテナンスとして
器具前は。60cm程度の
スペースを確保してください

■印部材及びバルブ類はご用意ください

※屋上設置の場合などでは、缶体内が負圧にならないようにして下さい。